

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	01 特色ある就学前教育を推進する		

基本方針	人格形成の基盤、学校教育の基礎となる力を培うため、保育園や幼稚園の連携を図るなど、幼児の日々の生活、心身の発達および学びの連続性を踏まえた就学前教育を推進します。また、地域や家庭における教育力の向上を支援します。
-------------	--

教育総務部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>電気料金の値上げ、施設設置備品等の老朽化など厳しい状況の中で、節電や節水等により費用を抑え、幼稚園の運営に支障を来たすことなく適正な運営管理を行うことができた。</p> <p>また、子ども・子育て支援新制度の開始に合わせ、市立幼稚園全20園中2園で、4歳児クラスを増設し、待機児童の解消を図った。また、支給認定手続と、教育・保育施設の入園・退園等に係る手続に関する窓口をこども部に一本化することにより、利用者の利便性の向上と効率化を図った。</p> <p>一方、市内の私立幼稚園3園に対しては、幼児教育振興のため、4・5歳児の園児数に基づいて教育活動のために要した経常経費の一部を助成した。</p>	

教育指導部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>ふれあい保育やすこやか子育て相談室など、園が核になって保護者の子育て支援をする場をもつことで、育児不安の解消や、子育て家庭の仲間作りができた。また、地域ボランティアとの交流から、保護者も地域に目を向け、つながりを持つようとする気持ちが芽生えてきた。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
各幼稚園で掲げる実践目標を達成している園の割合	%	65.0 (平成21年度)	85 (平成26年度)	85
就学前教育や義務教育の内容に関して満足している市民の割合	%	43.7 (平成20年度)	47.4 (平成26年度)	51

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	02 義務教育を充実する		

基本方針	変化の激しい時代をいきいきと主体的に生きていく基盤を培うため、一人一人の学ぶ意欲や学力を向上させ、豊かな心と健やかな体を育成する義務教育の充実を図ります。
-------------	---

教育総務部

【施策評価】	進捗状況 : 「A 期待どおり」
<p>小・中学校運営については、電気料金の値上げ、施設設置備品等の老朽化など厳しい状況の中で、各学校において節電節水等に努めることで全体的に使用量は低く抑えられ、運営に支障を来たことなく適正な運営管理ができた。</p>	

教育指導部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>ことばの力総合推進事業では、各小学校に「ことばの力」配達人を派遣して、子どもの思考力・判断力・表現力等の向上のきっかけづくりを推進するとともに、「かくこと」を中心に研究開発を進めた加古川小学校の取組成果の全市的な周知に努めることができた。英語活動支援事業では、ALTを効果的に配置することで、英語を用いたコミュニケーション能力育成の更なる向上を図るとともに、小学生がALTとの1対1の会話に挑戦するエンジョイチャレンジの実施機会を増やすことができた。</p> <p>また、学校ウェルネス促進事業では、小学校5年生から配付した「かこがわウェルネス手帳」を持った子どもたちが中学校に入学する時期をとらえ、手帳を効果的に活用して心と体の健康増進と運動能力の向上を図る小中学校が連携した取組を開始したところである。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
学習指導の充実を達成している小中学校の割合	%	60.0 (平成21年度)	80.4 (平成25年度)	80
就学前教育や義務教育の内容に関して満足している市民の割合	%	43.7 (平成20年度)	53.3 (平成26年度)	51

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	03 特別支援教育を充実する		

基本方針	障がいのある幼児・児童・生徒の自立や社会参加に必要な力を培うため、自らの能力や可能性を最大限に伸ばすことをめざした特別支援教育の充実を図ります。
-------------	--

教育総務部

【施策評価】	進捗状況 : 「A 期待どおり」
特別支援学校運営に係る光熱水費の支払、教材備品等の整備、施設設備の修繕やスクールバスの運行管理、警備業務等、適正な運営管理を行うことができた。	

教育指導部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
心身に障がいがある幼児・児童・生徒の就学にあたり、早期からの情報提供や相談を行うとともに、適正就学指導委員会における専門家の意見をもとに、本人・保護者が総合的な判断をすることができた。また、各小学校にスクールアシスタント、介助等を必要とする小中学校に補助指導員を配置し、一人一人の障がいの状況等に応じたきめ細やかな支援をすることができた。今後も、より一層のきめ細やかな支援を図るため、人的配置を含めた教育環境を整備することが大切である。	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
加古川養護学校における支援環境の充実の達成度	%	52.6 (平成21年度)	53.8 (平成26年度)	80
特別支援教育の内容に関して満足している市民の割合	%	36.7 (平成20年度)	49.2 (平成26年度)	40

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	01 学校教育を充実する
施策	04 教育を支える環境を整備する		

基本方針	学校園においては、開かれた学校園づくりを推進するとともに、家庭、地域、学校園が連携・協力し、子どもたちの学びや育ちを支える環境の充実を図ります。また、社会環境の変化に対応し、高等学校、高等教育機関等との連携を促進します。
-------------	--

教育総務部

【施策評価】	進捗状況 ： 「B 概ね期待どおり」
<p>PC教室機器については、リース契約や機器の更新を行い、学習環境を継続して維持管理ができています。今後は国の教育振興基本計画に基づき、普通教室でも使用できる可動式PCや電子黒板、書画カメラなどの整備を行っていく必要があります。また、教職員用コンピュータについては、内部系ネットワーク間で情報を共有できる環境づくりのため1人当たり1台となるよう整備を行った。</p> <p>学校園建物の耐震化について、平成26年度末での耐震化率100パーセントを達成した。非構造部材の耐震化対策についても、予定どおり実施設計を行い、平成27年度中の工事完了に向け計画的に実施している。懸案である学校施設の老朽化対策については、優先的に改修を進めるべき棟を選定し、教育環境整備事業において中長期的に取り組む。平成27年度から順次実施設計を行い、平成28年度から15年計画でトイレ改修及び機械や電気の設備老朽改修工事を実施する。加えて、営繕事業において既存施設の維持補修を図り、学校園の安定運営確保に努める。</p> <p>中学校給食実施に向けて「中学校給食懇話会」を計5回開催し、保護者や学校関係者の代表から実施にあたっての課題等に関する意見を聴取した。既存調理場の衛生管理のための修繕については、必要に応じて実施し、また、給食センターについては、老朽化したボイラー及び配管の入替え修繕を行い、支障なく給食を提供できる状況となった。</p> <p>就学奨励事業(就学援助)では、厚労省における生活保護基準の見直しに、就学援助の認定基準額に影響を与えることとなるが、できる限り就学援助の認定に影響が及ばないように対応した。</p>	

教育指導部

【施策評価】	進捗状況 ： 「B 概ね期待どおり」
<p>子どもたちの学びや育ちを支える中学校区連携ユニット12推進事業は、開始8年を終え、各中学校区の実情に合わせ、教職員や子どもたちの交流が進み、地域との連携の更なる充実を図るため、公民館や地域コーディネーターを交えた拡大部会も発足した。いじめ問題や防災教育、心の健康教育等の教育課題を、ユニット単位で研究を進めるいのちと心サポート教育研究事業の成果は、加古川教育フォーラム等で各ユニットに広げている。</p> <p>いじめや不登校問題等の未然防止、早期発見・早期対応を目的とした「学校生活に関するアンケート」を年間に2回(6月と11月)実施し、児童生徒の学校生活への適応感を分析し、活用することで、学校経営あるいは学級経営にいかそうとする学校が増えた。また、ユニット12においても不登校対策を推進して、小・中連携を生かしたさまざまな取組が行われた。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
学校園施設の耐震化率	%	70.56 (平成22年度)	100 (平成26年度)	100
不登校児童・生徒の割合(小学校/中学校)	%	0.15/2.50 (平成21年度)	0.27/2.13 (平成26年度)	0.14/1.97
開かれた学校園づくりを達成している幼稚園および小中学校の割合	%	61.5 (平成21年度)	100 (平成25年度)	85

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本 目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	02 地域における教育・学習環境を整備する
施策	01 生涯学習を推進する		

基本 方針	市民の生涯にわたる学習活動を支援するとともに、市民が習得した知識や技能を社会や地域に生かせる環境を整えるなど、生涯学習を推進します。
------------------	--

教育指導部

【施策評価】	進捗状況： 「B 概ね期待どおり」
<p>加古川図書館については、雨漏りや耐震性等の問題があり、早急な大規模改修を必要としているが、図書館自体の移転を含めた存続の問題が前提としてあり、十分な議論が進んでいない状況である。</p> <p>生涯学習の活動拠点である公民館については、平成27年4月から新たに尾上公民館を指定管理に移行した。また、老朽化した公民館の移転等、継続した検討課題も多く残っているが、今後は、地域に根ざした魅力ある生涯学習活動拠点として、地域の実情に即した管理運営を行うこととする。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
市民一人あたりの図書貸出冊数	冊	6.6 (平成21年度)	6.2 (平成26年度)	7.5
市民一人あたりの公民館利用回数	回	4.0 (平成21年度)	4.2 (平成26年度)	5.5
生涯学習機会や学習環境に関して満足している市民の割合	%	54.8 (平成20年度)	52.7 (平成26年度)	58

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	02 地域における教育・学習環境を整備する
施策	02 地域総がかりで青少年の健全な育成を図る		

基本方針	家庭や地域における教育力の向上を支援するとともに、家庭、地域、学校園などが連携・協力し、青少年の学びや育ちを支え、心身の健全な成長を促します。
-------------	---

教育指導部

【施策評価】	進捗状況： 「B 概ね期待どおり」
<p>臨床心理士を中心にさまざまな相談に対応するシステムが構築されており、緊急対応時にも関係機関や学校と迅速に連携することができた。</p> <p>「留守家庭児童対策事業」については、平成26年度に、加古川、氷丘南、野口及び野口南の4小学校区で計5クラブを増設した。平成27年度当初において、市内28小学校区37クラブで事業を実施している。なお、平成27年3月に策定した「加古川市子ども・子育て支援事業計画」において、平成27年度から平成31年度の5年間で、児童クラブにおける待機児童の解消、施設基準への適合及び高学年までを対象とした受入れに向けた提供体制の確保について規定し、計画的な整備を進めることとしている。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
地域(小学校区・町内会)での多世代交流イベントの実施割合	%	79.7(平成17～21年度の平均)	81.5(平成23～26年度の平均)	85(平成23～27年度の平均)
青少年の健全な育成に関して満足している市民の割合	%	17.0 (平成20年度)	42.8 (平成26年度)	24

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01 スポーツ・レクリエーション活動を推進する		

基本方針	市民のだれもが、生涯にわたり、年齢、体力、技術に応じて、スポーツ・レクリエーションを楽しめる環境の充実を図ります。
-------------	---

地域振興部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
スポーツ・レクリエーション活動の推進にあたり、スポーツ関連施設の整備・運営管理を行い、スポーツに取り組める環境づくりを行っている。また、マラソン大会やツデーマーチなどを実施することにより、市民が参加できるスポーツ・レクリエーション活動を推進した。	

環境部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
・いずみプラザは平成26年4月9日、グラウンド・ゴルフ場は芝の育成状況を考慮して同年6月24日に運営開始した。 ・利用人数は、研修室:861人、キッズ・ルーム:1,510人、グラウンドゴルフ場:2,447人(利用回数では延べ4,075人)で合計4,818人(6,446人)であった。 ・実行プランの取組みについては、次のとおりであった。 ① 新規施設で、グラウンド・ゴルフ場等の芝への散水量が予想できなかったため、水道料金の納入通知書及び水道メーターをこまめに点検し、年間の水道使用量の傾向を把握した。 ② 隣接のクリーンセンターと連携し事務を進めることにより、職員の勤務シフトの調整や、窓口で受領した使用料の納入事務を円滑に行うことができた。 ③ グラウンド・ゴルフ場については、小野市など他市の施設と、適宜、情報交換を行い運営方法の確立に努めた。	

建設部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
権現総合公園キャンプ場の利用者ニーズを把握するため、管理事務所において利用者の生の声を聞くように努めた。 また、平成26年度の利用者数については、のべ4,195人(利用サイト数794)と、平成17年の開園以来最も多くの方に利用いただいた。	

教育指導部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
平成26年11月に開催した『第2回 加古川市民スポーツカーニバル』においては、主催者である「加古川市スポーツネットワーク委員会」と連携を図りながら、市民がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさを体感できる様々な企画を行った。また、『第36回加古川市小学校陸上記録大会』と同時開催を行うことにより、約4,000人ももの市民が集まったことで、より多くの市民にカーニバルの趣旨を広めることができた。 また、スポーツライフセミナーについては、昨年度から引き続き、小学校コースと公民館コースそれぞれ6箇所ずつ計12カ所で開催した。参加者に対するアンケートでは多くの方がわかりやすく、今後同様のプログラムにも参加すると答え、満足度は高かったと言える。一方で、年齢層の偏りが見られることから、27年度からはスポーツ実施率の低い20～50代を対象としたプログラムについても検討していく。	

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	01 スポーツ・レクリエーション活動を推進する		

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
週1回以上スポーツをしている20歳以上の市民の割合	%	38.1 (平成19年度)	42.1 (平成23年度)	50以上
スポーツ・レクリエーションの活動機会提供に関して満足している市民の割合	%	54.6 (平成20年度)	51.6 (平成26年度)	58

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	03 スポーツや文化・芸術を振興する
施策	02 豊かな文化・芸術をはぐくむ		

基本方針	歴史、風土に培われた地域の文化を守りながら、多様な文化・芸術に対する市民の理解や主体的な活動を促進するとともに、異文化への理解を深める国際交流を推進し、豊かな文化・芸術の創造に向けた環境を整えます。
-------------	---

秘書室

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>・国際交流センターは竣工から24年が経過し、老朽化が進んでいるが、国際交流推進の拠点として中長期的な視点から計画的な改修計画を立案し、利用者の安全の確保と維持管理コストの低減を図ることができている。</p> <p>・国際交流事業については、加古川市国際交流協会と協力しながらアンケートを実施し、利用者ニーズをとらえ、その意見を事業運営に反映させることができている。</p>	

地域振興部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>文化関連施設の運営管理を行うことにより、文化・芸術活動への参加機会の確保や文化・芸術に接する機会を提供した。特に、文化施設の拠点である市民会館の耐震化等改修を行い、安全に安心して快適に利用できる施設となった。</p>	

教育指導部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>埋蔵文化財の調査や考古資料の整理については、今年度は、例年に比較して大幅に進捗するとともに、文化財講座の開催、文化財ニュースの発行や新たなホームページ作成により、情報発信の成果はあがったものと思われる。全体的には概ね期待どおりの成果は達成できたものとする。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
指定文化財数	件	110 (平成21年度)	117 (平成26年度)	125
主な文化施設の利用者数(市民会館、総合文化センター)	人	319,965 (平成21年度)	265,267(平成26年度) ～H26.8 市民会館休館	340,000
文化・芸術に接する機会提供に関して満足している市民の割合	%	48.3 (平成20年度)	47.4 (平成26年度)	52

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	01 人権文化を確立する		

基本方針	市民一人一人が人権意識を高め、日常生活の中でお互いの人権を尊重し、ともに生きる社会の実現をめざします。
-------------	---

市民部

【施策評価】	進捗状況： 「B 概ね期待どおり」
<p>人権教育・啓発の推進に向けて、人権教育講演会を3回、人権啓発セミナーを3回開催した。 (仮称)加古川市人権文化センターについては、平成26年8月に建設工事に着工し、平成27年3月に完成し、平成27年4月にオープンした。また、(仮称)加古川市人権文化センターの開設に合わせ4隣保館を閉鎖し、移管も含めた利用方法について、地元町内会等と調整を行った。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
人権教育講演会および人権啓発セミナーの参加者数	人	3,749(平成17～21年度の平均)	3,528(平成23～26年度の平均)	3,800(平成23～27年度の平均)
人権教育や人権啓発の推進に関して満足している市民の割合	%	57.3(平成20年度)	54.2(平成26年度)	61

加古川市施策評価シート＜平成26年度＞

基本目標	02 心豊かに暮らせるまちをめざして	政策	04 互いに尊重しあって暮らせる社会を実現する
施策	02 男女共同参画社会の形成を推進する		

基本方針	男女共同参画の意識醸成と環境づくりを推進し、市民一人一人が性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会の実現をめざします。
-------------	--

企画部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>● 審議会等への女性の参画率を高めるため、関係課への働きかけや積極的な啓発を行った。一方で、女性人材バンクの活用が少なく、委員への推薦にほとんど至っていないことから、目標値到達にはさらなる努力が必要である。</p> <p>● 女性の社会進出のため、新たに子育て中の母親を対象にしたセミナーを開講するなど、SNSを活用し、若い世代への啓発に取り組むことができた。</p> <p>● 女性団体連絡会の加入促進については、紹介パンフレットの作成やホームページへの掲載を行うなど会員数の増加につながるよう支援を行った。</p>	

こども部

【施策評価】	進捗状況 : 「B 概ね期待どおり」
<p>加古川市配偶者暴力相談支援センターにおいて、離婚、夫婦関係、配偶者からの暴力等の相談に応じるとともに、女性の自立に向けた支援を行うことができた。</p>	

まちづくりの指標				
指標名	単位	総計策定時	現状	目標値(H27)
審議会等への女性の参画率	%	29.4 (平成22年度)	33.3 (平成27年度)	50
男女共同参画の啓発に関して満足している市民の割合	%	45.3 (平成20年度)	48.8 (平成26年度)	49